

# 入院患者の**持参薬管理**にて、**医療リスクの軽減**

薬剤部では、飲み薬や注射薬の調剤、患者さんへの薬の説明、抗がん剤の無菌的な調製など様々な専門業務をおこなっています。その中のひとつに、入院時患者さまの持参薬を確認する業務（普段お飲みになっている薬の内容確認）がありますのでご紹介します。

## ➤ なぜ、持参薬管理をするの？



入院時患者さまに病院へ持ってきていただくお薬は多種多剤で、どのような目的で、どのように服用されているのか曖昧な場合があります。持参薬の管理不十分は、入院での治療・検査に医療安全の観点から大きな問題を引き起こすことあるので、私たち薬剤師が、他の医療機関で処方され服用されているお薬について、以下のことを確認しています。

- ◆ 重複している薬・期限切れ薬剤がないかを確認
- ◆ 血液をさらさらにする薬など、外科的処置や手術前に休薬の必要なお薬を飲まれていないか確認
- ◆ 一緒に飲むと効きすぎたり、効果が弱くなったりする組合せの薬（相互作用）がないかを確認

上記の結果、現在の他の医療機関の処方内容・服薬状況を的確に把握することが可能となり、安全で安心な医療を入院中に患者さまに提供できることとなります。

## ➤ そこで入院される患者さまにお願いします！

入院時には、ご自身が普段服用されている薬を、必ず、持参してください。

### 持参していただくもの

- 当院で処方された薬（入院される科及び他の診療科）
- 他の病院・診療所で処方された薬（当院に同じ薬がないことがあるため）
- お薬手帳、薬の説明書、薬の袋（薬の飲み方が、正確に把握できます）

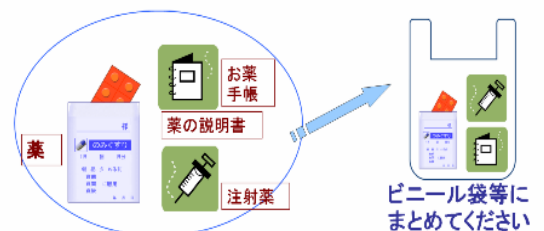


### 薬剤部からのお願いです！

- 入院の予定日数分だけの薬をご持参ください。
- 薬の袋に入れたままご持参ください。  
（薬をいつ？ 1回何個？などの処方内容を確認します）
- 以前服用していて、今はもう服用していない薬は、持参しないでください。（誤薬の原因となります）

### 入院予定患者様へのお願い

入院されるときには、ご自身が普段服用されている薬を**入院予定日数分**ご持参ください。薬剤師が内容を確認します。



## ➤ 最後に

今後も、患者さんが正しく安心してお薬を飲んでいただけるようにご協力させていただきたいと  
思います。薬について何かご質問があれば薬剤師にお気軽にご相談ください。（薬剤部 佐倉小百合）